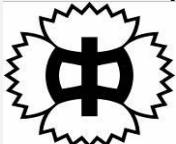


大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！



# なでしこ

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ！』

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和6年2月29日 第10号(19-74)

発行責任者：校長 関田 誠

## 2/19（月）朝礼校長講話 『SOS信号は笑顔に隠れている』話

### ～見つけよう、あなたのまわりのSOS～

今月は『ふれあい月間』。人間関係を見つめなおす2月です。時々ニュースで「中学生、高校生が自ら命を絶った」と報道されます。私はその度に重苦しい気持ちになります。「学校は現時点でいじめの事実は把握していない」と報道され、残された生徒のメモやアンケート調査等で「いじめに耐えられなかった」ということが分かることがあります。学校では同級生は知っていたのかな？先生は（変だな？）と思わなかったのか。家族は異常に気付かなかったのか？など、様々なことが浮かんでは消えます。そして私は（正直、大宮中でなくて良かった）と、胸をなでおろして、次の瞬間（本当にうちは大丈夫なのか？）と思うのです。

以前、中学生が考えたいじめ撲滅の標語で、私が好きな言葉があります。『見つけよう、あなたのまわりのSOS』。いじめは小さな芽のうちに『SOS』をまわりが感知できるかが勝負です。多くの場合、その『SOS』は極々微弱な信号です。

私の体験です。55年前の小学校3年生の冬、当時私は元気で活発な子どもでした。ある日クラスのある男子が言い出したあだ名によって、私は傷つきました。私は当時から髪の毛が天然パーマでした。自分の天然パーマが普段から嫌でした。（みんなと同じ真っ直ぐな髪だったらな～）と、よく思いました。その気にしていた部分を、ビストライクにえぐるあだ名でした。呼ばれる度に嫌な気持ちになりましたが、誰も助けてはくれません。それはなぜか？私が『笑っていた』からです。喧嘩をすれば勝てる相手でしたが、なぜか私の反応は『笑い』でした。『笑うこと』が精いっぱいの虚勢だったのです。四月になり4年生。クラスは変わり、あだ名は自然に消えました。今思い出すと、そのあだ名を使っていたのは数人の男子でした。クラスに広まることがなかったのは、小学3年生でも身体的特徴や本人の努力で変えられない事を、あだ名に使うのはアウト！という良識があったのかもしれません。あるいは私が発する（止めてくれ！）という微かなSOSを、感じ取ってくれる人がいたのかもしれません。そんな記憶もあり、この標語が好きなのかもしれません。『人の嫌がる事は言ったりやったりしてはいけない』ことに強く気付かされた体験でした。

いじめの加害者が、後で「そんなに辛いとは思わなかった。笑っていたから大丈夫と思った」と言うことがあります。ふざけるな、と思います。嫌なことがあっても、悲しい、悔しい感情を表に出せない人は意外に多いものです。自分が誰かにちょっかいを出して、相手が笑っていたら、（だから大丈夫）と思うか、（もしかしたらマズい）と思えるか。私たちは大事になる前に、微弱なSOSを敏感にキャッチ！です。そのための東京都のいじめアンケートです。いざという時にSOSをキャッチできるのは、大人よりも仲間の皆さんではないですか？もしSOSを感知したら迷わず書いてほしい。先生方は感謝しながら読んで、素早くかつ真剣に手を尽くします。



by KYEL

## 令和5年度 杉並区教育調査 まとめ

昨年末に実施しました区調査へのご協力ありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。肯定率の数値の顕著な項目については、今年度の成果と来年度の課題と考えて大宮中学校の教育改善に活かして参ります。 70%以上を青の白抜き、50%未満を赤の白抜きで表示しました。

### 1 保護者

No.	保護者に対する質問内容	全校	大宮中	回答不能
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている	54.7%	68.1%	1.4%
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方方が身に付いている	65.5%	77.8%	1.4%
3	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる	49.7%	61.1%	6.9%
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	46.3%	51.4%	5.6%
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	40.6%	25.0%	13.9%
6	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	64.7%	65.3%	2.8%
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	34.0%	36.1%	11.1%
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	43.2%	47.2%	11.1%
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	62.8%	75.0%	2.8%
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	79.0%	84.7%	0.0%
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている	43.9%	51.4%	11.1%
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	35.0%	30.6%	22.2%
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	27.8%	54.2%	16.7%
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる	68.4%	80.6%	1.4%
15	学校は、児童と幼児の交流、保護者への理解啓発等、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を意識した取組を積極的に行っている			
16	子どもは、障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた目標の設定や手だてにより自立と社会参加の可能性が広がっている	66.7%	100.0%	0.0%
17	子どもは、通級指導教室・特別支援教室で学ぶことによって、学校生活全般への参加がしやすくなっている	62.2%	33.3%	0.0%
18	子どもは、地域の行事に参加している	28.9%	25.0%	0.0%
19	学校は、特別支援教育の現状や上級学校又は社会人の生活など、障害者に関する様々な情報を、保護者会や個人面談、進路説明会などの機会をとおして提供している	42.0%	28.6%	0.0%

### 2 学校運営協議会

No.	学校運営協議会委員に対する質問内容	全校	大宮中	回答不能
1	子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問い合わせ課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探求したりする力が育っている	76.3%	57.1%	0.0%
2	子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている	79.4%	85.7%	0.0%
3	教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている	77.9%	42.9%	0.0%
4	学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	76.3%	85.7%	0.0%
5	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々の学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている	75.6%	28.6%	28.6%
6	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	49.6%	57.1%	0.0%
7	学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している	88.5%	71.4%	0.0%
8	学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員（学校関係者を含む）と話し合ったりしている	80.8%	57.1%	0.0%

### 3 教員

No.	教員に対する質問内容	区全校	大宮中	回答不能
1	授業では、普段の生活のことや社会での問題・話題になっていることを材料に学べるようにしている	75. 8%	80. 0%	6. 7%
2	授業では、「授業を進めるのは、先生ではなく、児童・生徒である」と児童・生徒が感じられるようにしている	49. 0%	33. 3%	6. 7%
3	授業では、児童・生徒が、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学べるようにしている	51. 3%	73. 3%	6. 7%
4	授業では、児童・生徒が、挑戦や失敗を繰り返しながら、問いや課題の解決に取り組めるようにしている	77. 5%	80. 0%	6. 7%
5	授業では、児童・生徒が、学習を進める方法やペースを自分で決めながら学べるようにしている	43. 0%	60. 0%	6. 7%
6	授業では、児童・生徒一人ひとりの学びに合わせて、「わからない」を解決するための指導・支援をしている	69. 5%	66. 7%	6. 7%
7	授業の中で出た意見や考えを、児童・生徒が自分の学びに生かせるようにしている	78. 5%	86. 7%	6. 7%
8	授業では、児童・生徒が、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学べるようにしている	77. 8%	86. 7%	6. 7%
9	学級の全体に関わることは、児童・生徒が自分たちで、全員の考え方や気持ちを確かめながら決められるようにしている	72. 8%	73. 3%	13. 3%
10	学校生活で児童・生徒が疑問に思ったことは、全校で話し合ったり、みんなで合意したりしながら変えられるようにしている	63. 9%	66. 7%	0. 0%
11	学校の教育目標や目指す児童・生徒像、特色ある教育活動や教育課程などについて、学校評議会や学校運営協議会、学校関係者評価委員会で協議している	59. 9%	46. 7%	20. 0%
12	児童・生徒が、自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	56. 3%	66. 7%	0. 0%
13	連携する小・中学校による小中一貫教育（各教科等において、義務教育9年間を見据えた一貫性のある学習指導計画の作成、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	53. 6%	40. 0%	0. 0%
14	教員である自分自身が身に付けたい資質・能力について、必要な学びが得られており、学び続けることができている	66. 6%	73. 3%	0. 0%
15	子どもと向き合う時間が確保できている	45. 4%	46. 7%	0. 0%
16	タイムマネジメントを意識して勤務できている	49. 3%	46. 7%	0. 0%
17	勤務する学校は、働き方改革に意識的に取り組んでいる	41. 7%	40. 0%	0. 0%
18	誇りややりがいをもって仕事を行なうことができている	69. 5%	53. 3%	0. 0%
19	ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができている	36. 1%	40. 0%	0. 0%
20	スクール・サポート・スタッフの活用が負担軽減につながっている	75. 5%	73. 3%	0. 0%
21	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちが学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	69. 2%	93. 3%	0. 0%
22	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫を行っている	43. 0%	53. 3%	0. 0%
23	授業や行事、学校生活全般において、その内容や進め方を、児童・生徒が自らを学びの主体であると実感しながら、自分たちで考えたり教職員及び学校関係者と話し合ったりできるようにしている	61. 6%	46. 7%	0. 0%

**【コメント】**回答方法が、前々年度まではペーパーを使用した質問用紙の回収、昨年度は杉並区全校でインターネットを使った回答に変更され、今年度より区からのメールによる配信と変わってきました。その結果、R3:80%、R4:55.7% R5:35.6%と年々低い回答率となっています。本校だけの傾向ではないようですが、オンライン化の中での検討事項と捉えています。

保護者に対する質問内容でNo.16の「子どもは、障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた目標の設定や手立てにより自立と社会参加の可能性が広がっている」が100%という数値は、各学年で取り組んでいる「キャリアデザイン講座」が評価されているのを感じます。しかし、No.5の「連携する小・中学校による小中一貫教育が進められている」やNo.18の「子どもは、地域の行事に参加している」は25%と低い数値であり、まだコロナの影響から脱却できていない影響も含めて、来年度以降、学校の情報発信力を高めていきます。

学校運営協議会委員(以下CS)に対する質問内容でもNo.20の「学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している」が85.7%と、こちらも各学年で取り組んでいる「キャリアデザイン講座」が評価されているのを感じます。

教員に対する質問内容では、No.19の「児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちが学びや生活の必要に応じ、選択して活用している」が93.3%と高く評価されているのに対し、CSの質問内容では28.6%と低い評価であることから、教職員とCS委員との意見交換を進めていきます。また、教員に対する質問内容のNo.15.16.17.18「働き方改革」の項目では40%台と軒並み低い評価になっており、来年度も教育課程や部活動のあり方を改善していかなければと感じています。今後、赤塗りにあたる項目の改善を、教職員一同進めてまいります。

1

31(水)～2月1(金)

## 菅平移動教室 (A・B組)

引率：沼田副校長

**一日目** 佐久 IC を降りても雪が全く無く、とても心配になりましたが、宿舎が近くになるにつれてやっと雪景色で一安心でした。昼食を済ませ8班に別れてスキー教室です。1日目ということもあり、なかなか上手く滑れない人もいましたが、最後の方には大体の人が感覚をつかんでいました。やはり若いって素晴らしい！その後は宿舎前で雪像作りと雪に戯れています。室内レクも盛り上がりで終わり、就寝準備です。夜見回ってみると疲れてぐっすり寝ていました。明日は1日ゲレンデとハードな日程になりますが、生徒たちの更なる成長を楽しみにしたいと思います。



2024.01.31

### 2日目

天気はあいにくの霧雨でガスがかかっています。午後も天気は好転しないままスタートしました。午後は各班さらに新たなコースでのレッスンでした。リフトからふと周りを見ると、どの班が上級班で、どの班が初級班なのか見分けがつかないくらいみんな上達していました。レッスンが終了して、宿の前でみんなでお汁粉を食べて冷えた体を温めました。入浴後、お土産タイム、そして、2日目に続き、室内レクです。1日のレッスンの疲れも見せず、この日も大盛り上がりでした。いよいよ明日は最終日、更なる成長を楽しみにします。



**3日目** いよいよ最終日です。本日は朝から晴天です。なんと、気温マイナス8℃です。それでも生徒は元気にゲレンデに飛び出して行きました。みんな最後のスキー堪能していました。4回目のレッスンもケガなく無事に終わることができました。まだ滑りたいという気持ちを抑えて宿を出発しました。中学校に入学して2回目の宿泊行事、3日間寝食をともにして、更に友情が深まり、絆も強まったと思います。

2

12(月)～14(水)

## 連合菅平移動教室 (G組)

引率：関田校長

**一日目** 現地の天気は上々。そこそこ暖かく雪のコンディションもますますです。晴れたり曇ったりの中で、生徒は2時間半スキー実習頑張りました。インストラクターの言うことに集中して、初級者は緩斜面で板に慣れようとしていました。明日はリフトで上に行く予定です。途中投げ出す生徒もおり、楽しみにしている様子でした。上級クラスの3人は、リフトで上がって何本も滑っていました。その後は、入浴と売店で買い物学習でした。どっさりお土産を買っていましたよ。お楽しみに！



**2日目** 快晴の最高のコンディションです。みな、やる気満々です。午前中2時間。ランチ、休憩はさんで午後2時間のスキーでした。ゲレンデは春スキーのようなボカボカ陽気で、ウエアが暑いくらいでした。全員リフトに乗って、午後も2時間頑張っていました。晩ご飯はすき焼き等でした。日中のスキーでお腹が減ったのでしょうか。ご飯をお代わりして食べている人がたくさんいました。スキーの後は、大宮中が2日とも一番風呂でした。入浴して気持ちよくなったら後は、男子の広い部屋に全員集まって、トランプやウノで楽しんでいました。



**3日目** 今朝も快晴です。3日間こんなに天気に恵まれたのは、私は初めてです。生徒たちは全員元気です。他校では、何人か発熱やインフルが出ましたが、今日も全員最後のスキー実習に入ります。午前中のスキー実習は無事に終わりました。リフトに何本も乗って楽しそうに滑っていました。菅平に別れを告げてからは、さすがに疲れたようで、帰りのバスでは、となりのトロ口が映っていましたが、うとうと、爆睡する生徒も。3日間生徒は、宿泊、スキーを経験して、パワーアップできました。仲間との友情を深めることができました。